

2022 年度 卒業後アンケート調査結果報告書

1996 年から 2022 年の卒業生で、校友会に所属している卒業生に対して在学時の教育の満足度を調査した報告書です。

I. 調査概要

調査目的：学生の満足度のさらなる向上を目指し、大学での学びの成長が就職・進学に効果的であったかを検証する。

実施期間：2022 年 9 月 26 日(月)～2022 年 10 月 31 日(月)

依頼方法：公友会会報誌(ASU Communication)発送封筒にアンケート依頼案内(別紙参照)を同封(3800 枚)

回答方法：Web による回答

有効回答数：62 件(回答率 1.6%) 昨年の回答率 4.5%

回答率の低下の要因として、

- (1) 今年度から大学 IR コンソーシアムに加入し統一アンケートを実施したため質問事項が多く回答に時間がかかった
- (2) 昨年は初めて Web 上での試みにより珍しかったことが考えられる。

II. アンケート内容及び結果

1. あなたが入学した試験の形態についてうかがいます。該当するものに一つだけ選択してください。

表 1 入試形態

選択肢	人数
一般入試（国公立大学の前・中・後期日程、及び、私立大学の一般入試を含む）	17
一般入試と大学入試センター試験の併用型入試（ただし、私立大学のみを含む）	3
大学入試センター試験（単独）利用型入試（ただし、私立大学のみを含む）	3
内部進学（学内付属校からの進学）	2
指定校推薦	23
スポーツや課外活動の推薦	0
公募推薦	4
AO選考	7
留学生入試	0
社会人入試	0
編入学	3
その他の試	0

大学への入学方法は一般入試と指定校推薦が多かった。回答してくれた卒業生は在学中にそれなりに活躍した学生であり、成績上位者と思われる。

2. あなたの本学の志望順位は何番目でしたか。該当するものに一つだけ選択してください。

表 2 志望順位

選択肢	人数
第 1 志望	34
第 2 志望	9
その他	19

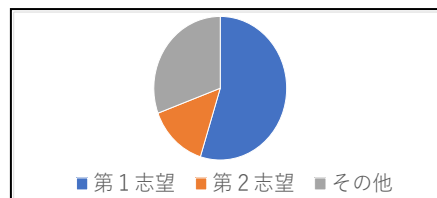


図 1 志望順位

半数以上が第 1 志望校であった。アンケートに答えてくれる卒業生なので当然かもしれない。

3. 大学の授業科目や課外活動について、どの程度熱心に取り組みましたか？該当するものを 1 つだけ選択してください。

表 3 学生時代に打ち込んだもの

	熱心に取り組んだ	やや熱心に取り組んだ	どちらともいえない	やや不熱心であった	不熱心であった	取り組まなかった	その他
全学教育(一般教養科目)	20	18	18	3	2	1	0
外国語科目	11	15	20	9	3	3	1
専門科目(実験除く)	29	22	5	4	1	0	1
専門科目(実験)	27	12	9	3	1	9	1
ゼミや実習	35	17	6	1	1	1	1
卒業論文・卒業研究	38	15	5	2	1	0	1
部・サークル活動	14	5	14	1	2	25	1
資格の取得	6	10	16	4	2	23	1
アルバイト	19	23	8	2	2	7	1
ボランティア	2	6	12	3	0	38	1

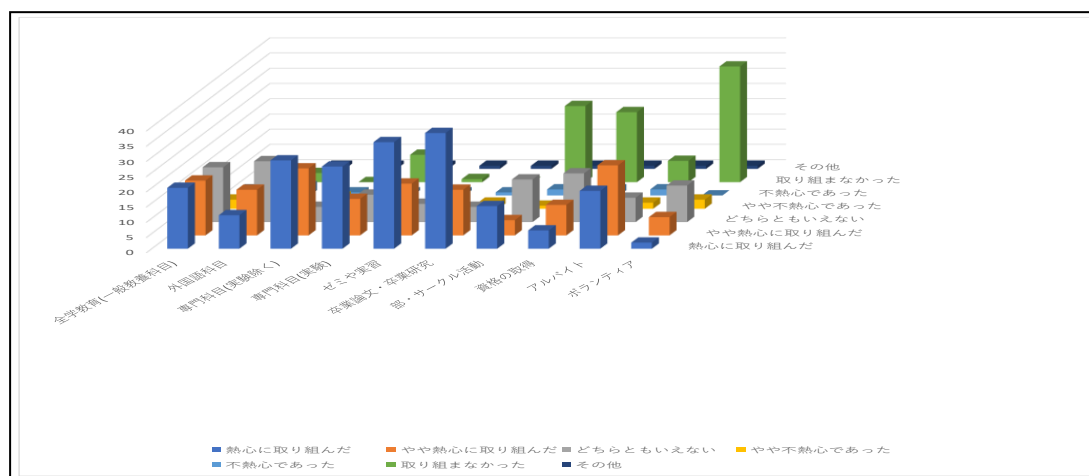


図 2 学生時代に打ち込んだもの

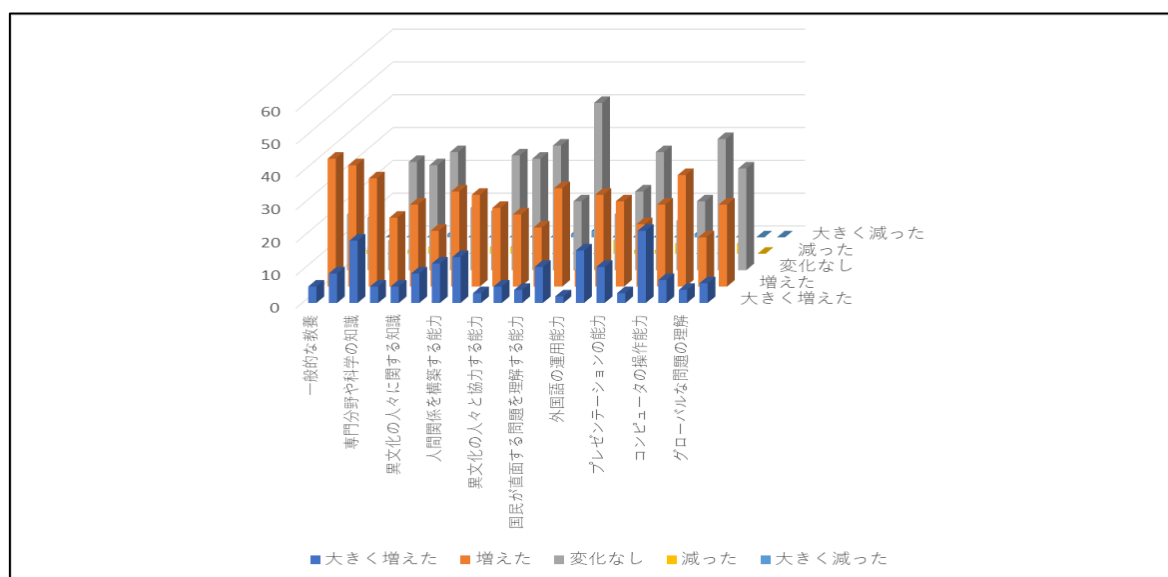
表 3 や図 2 から見るとそれなりに勉強やサークル、アルバイトに打ち込んでいる。(アルバイトは昨年と同じ)

卒業論文や卒業研究に印象が残っている。また、ボランティア活動に無関心さが見えた。

4. 在学中を振り返って、以下の能力や知識はどのように変化しましたか？該当するものを 1 つだけ選択してください。

表 4 能力や知識の変化

	大きく増えた	増えた	変化なし	減った	大きく減った
一般的な教養	5	39	17	1	0
分析力や問題解決能力	9	37	16	0	0
専門分野や科学の知識	19	33	9	1	0
批判的に考える能力	5	21	33	2	1
異文化の人々に関する知識	5	25	32	0	0
リーダーシップの能力	9	17	36	0	0
人間関係を構築する能力	12	29	19	2	0
他の人と協力して物事を遂行する能力	14	28	18	2	0
異文化の人々と協力する能力	3	24	35	0	0
地域社会が直面する問題を理解する能力	5	22	34	0	1
国民が直面する問題を理解する能力	4	18	38	0	2
文章表現の能力	11	30	21	0	0
外国語の運用能力	2	5	51	4	0
コミュニケーションの能力	16	28	17	1	0
プレゼンテーションの能力	11	26	24	1	0
数理的な能力	3	19	36	3	1
コンピュータの操作能力	22	25	15	0	0
時間を効果的に利用する能力	7	34	21	0	0
グローバルな問題の理解	4	15	40	3	0
就職に向けた情報収集能力	6	25	31	0	0



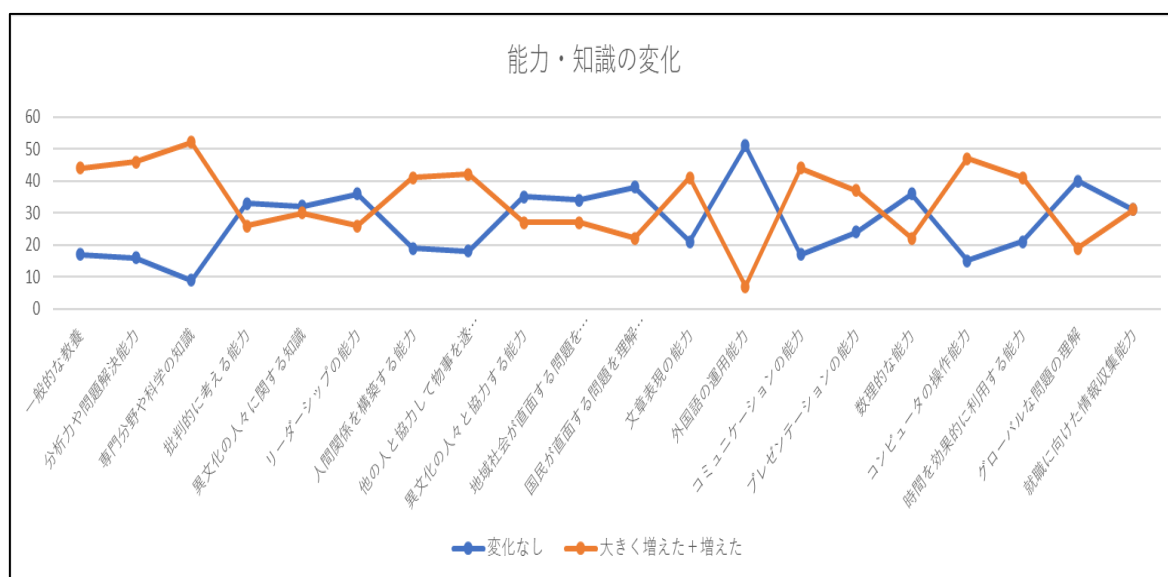


図 4 能力や知識の変化

図 4 は表 4 の「変化なし」と「増えた+大きく増えた」の変化を見たものである。
ここからはグローバルに関することと地域社会に関することの教育が必要と感ずる。

5. 本学の教育・研究に満足していましたか。該当するものを一つだけ選択してください。

表 5 教育・研究の満足度

選択肢	人数
とても満足	12
満足	26
どちらとも言えない	16
不満	4
とても不満	4

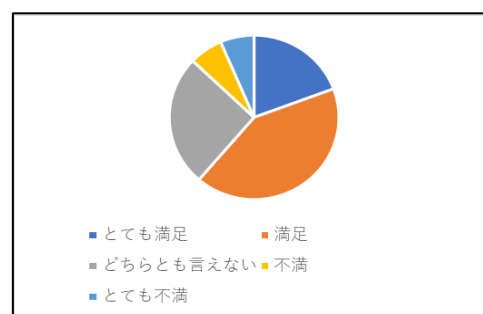


図 5 教育・研究の満足度

理由抜粋

- ・卒業制作・研究で、自分がやりたいことや表現したいことを思いのままに表現できたし、教員も自分に見合ったレベルでアドバイスを下さったから。
- ・出会った方々のおかげでたくさんのことを学びました。私自身がもっと学生としてのびのび学べば良かったなあと思っています。
- ・大学の先生方がとても熱心に面倒を見てくださったこと、親身に指導してくださったので、興味のない科目もあったが、卒業できたと感謝している。特に、論文指導が手厚く、分からないことだらけだったのに、いろいろなヒントを与えてもらって、締め切りぎりぎりだったが、何とか完成し、自分の力ではなく先生方のおかげだと思っている。中高の先生よりも面倒見がよかった。ただ、予想以上に手先が不器用だったので、制

作は向いてなかったと適応能力のなさに失望していた点も否めない。

- ・内容に関することではなく、経験が増えたという点で満足をしています。
- ・親身になって指導して下さる先生の下、学びました。分からない事や納得行かない事があっても、ゆっくり時間をかけ、指導頂いた思い出は、今でも宝と思っています。
- ・担当教授が非協力的でゼミ生に対して、指導を全く行わなかった。
- ・大学時代はろくに勉強せずに、当時のある先生によくゴキブリ以下だ、と言われ続けてきた自分ですが、今の職業柄、大学時代に学んだ Jw-cad のおかげで、設計が出来、大変助かっております。
- ・内容が薄かった。
- ・経営のシミュレーションを行う講義があればいいのにな、と感じていたからです。
- ・デッサンの勉強ができたのが嬉しかったです。他にも先生達との交流の中で得られる知識は他には代え難いものでした。
- ・先生方の教えは大変勉強になりました。
- ・当時はあまり大きく考えていませんでしたが、社会に出てわかることが多かったです。
- ・大失敗。良かったと思える点(講義内容、立地、コミュニティなど)が一切無かった。申し訳ないが高卒で就職した方が良かったと思う。
- ・良い先生がいました。デザイン学科の先生を辞めさせないでください。
- ・特に研究に対する意欲的な気持ちをさらに伸ばしてくれたと感じたため。
- ・専門的な知識が身についたから
- ・グループワークが多くてさまざまな視点を知ることが出来た
- ・建築計画系のゼミで担当の先生方にお世話になりました。今の仕事でも在学中教授いただいたことは活かしています

6. 大学時代の生活全般に満足していましたか。該当するものに一つだけ選択してください。

表 6 生活全般の満足度

選択肢	人数
とても満足	19
満足	27
どちらとも言えない	13
不満	1
とても不満	2

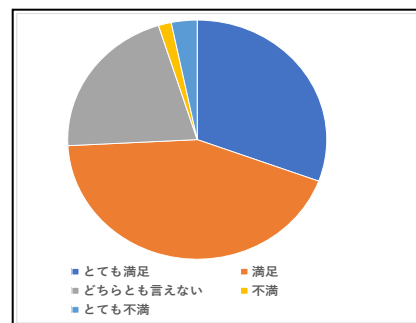


図 6 生活全般の満足度

理由抜粋

- ・設備が貧弱だった
- ・大学内外どちらにおいても何か物足りなさを感じていたから
- ・デザイナーを目指す友人が出来、看板を広げることができた

- ・文系から建築と編入したため、単位取得に苦労しました。もう少し個々の力に合わせた指導教育が必要だと思いました。
- ・コロナで一年行けない期間があったのが悔しい。
- ・嫁との出会い
- ・高校生とも社会人とも違う、20歳前後特有の人との関わり合いが充実していて楽しかったです
- ・仲の良い友人と勉強し合ったり楽しく学園生活を送れたため。
- ・楽しかったですし、大切な時間でした。4年生の時、大学に行って仲間と過ごす時間が減ってしまったことなどが、何故か悔やんでいます。
- ・授業以外では、人間関係がやっぱり難しかった。自分も変な奴だったかもしれないが、変な奴が多かったような気がする。人間関係に教科書はない。そして、家（名古屋市中川区）からキャンパスが遠かったこともあり、親は4年間通い続けられるのかとても心配していた。高校時代に学校が一番つまらない場所だったということも影響していると思う。だが、社会人になってもっとしんどい思いをしているから、振り返るとまだ学生時代の方がましだったということがよく分かる。学生時代は責任があるようではなかった。自分は成績も下位だったので、承認欲求は満たされなかった。
- ・引きこもりでした。出席が少なかったです。
- ・大学もバイトのバランスが上手くいっていた
- ・経験が増えたという点で満足をしています。
- ・思い描いていた事とは違っていた。
- ・愛産大が何をアピールしたいかが不明だった。何もかもが中途半端大学だなと卒業してから思った。
- ・通学に非常に時間がかかっていたため、各教授からそれぞれ出される課題をこなすため、1年生の時はほぼ毎日徹夜で作業を行っていた。この時期は正直ノイローゼ気味でした。よく乗り越えたと思います。
- ・四年間、友達と遊びまくり、いろんなバイトを経験でき、色んな人と出会い、勉強もして、世界が開けた。
- ・大学で出会った友達のおかげで、今も刺激をもらい、日々精進できている。
- ・勉学とバイトで終始生活していたが、その中で得られたものはいまだに大きいと思う
- ・在学期間中に、自分のしたい事をしてきたため。
- ・友達との時間が楽しかったから。
- ・考え方に共感できる友人がたくさんできた。
- ・貴重な時間を過ごせたと思います。
- ・24時間使えるところがない
- ・楽しく過ごしていたと思う。
- ・様々なことに挑戦でき、学内と学外どちらでも充実した生活を送ることが出来たと感じたため。
- ・全てがいいことばかりではありませんでしたが卒業後も戻ってきたいという気持ちが残っている為
- ・良き仲間に出会え、勉学の方面で充実出来た為。
- ・やっておけばよかったと思う事が多くあるから
- ・多くの人と交流を持つことが出来た
- ・宿泊研修でのグループが今でも交友を深める友人となっています。大学祭実行委員会もやらせてもらい縦のつながりもできました。
- ・良き仲間に恵まれた

教育の満足度と、生活全般の満足度は昨年と大差ないが、記述欄に「担当教授が非協力的でゼミ生に対して、指導を全く行わなかった」とあり残念に思う。

7. 大学卒業後の初職の、就職先については、志望どおりでしたか。該当するものの一つだけ選択してください。

表 7 初職は志望どおりか

選択肢	人数
第1志望	10
ほぼ志望どおり	22
どちらでもない	20
やや不満	5
全く納得していない	5

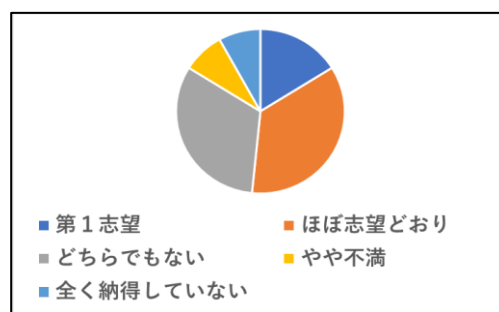


図 7 初職は志望どおりか

8. 大学卒業後の初職の、就職先の選択に際し、以下の項目をどの程度重視しましたか。該当するものを一つだけ選択してください。

表 8 就職先決定に重視したもの

選択肢	非常に重視した	やや重視した	あまり重視しなかった	全く重視しなかった
知名度	7	7	29	19
安定性	14	18	18	12
職種	21	24	12	5
業種	18	22	17	5
収入	7	18	27	10
勤務地	27	20	12	3
福利厚生充実	6	16	29	11
周囲の薦め・紹介	12	17	15	18
将来性	9	13	26	14
専門分野とのつながり	22	14	12	14

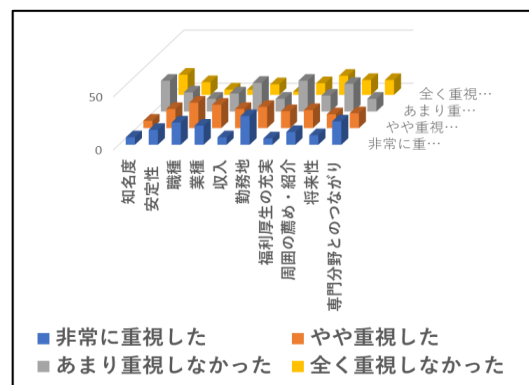


図 8 就職先決定に重視したもの

その他の理由

- ・コロナで思うように就職活動が出来なかった。
- ・就職氷河期で選択肢がなかった
- ・大学では、建築デザインを履修したが、自分に合っていないということに気付いたので、卒業後に、専門学校（医療関係）に進学した。
- ・希望の職種に就くのが難しいと考え、それに近い部署があり、後々転属が見込める会社に就職を希望しました。
- ・当時はデザイン事務所でアルバイトをしていてブラックな働き方をしていたため、デザインの仕事が続けられるか不安になり、教職を選びました。就職氷河期と言われた時代でもあったため、先輩の事務所ではボーナスの出ない所もあったりしたため、安定性も重視です。

・親の要望

大学卒業後の就職は「希望通り」の他「どちらでもない」が多い。就職先を決定するのに重視するのは「知名度」「収入」より「専門性」「勤務地」「職種」「業種」を重視している。大学で学んだことを活かすコツコツと人生を生きていく姿が想像できる。

9. あなたのこれまでの就業状況についてうかがいます。転職・離職の経験がありまか該当するものを一つだけ選択してください。

表 9 転職・離職の経験	
選択肢	人数
1度だけある	15
2回以上ある	21
ない	26

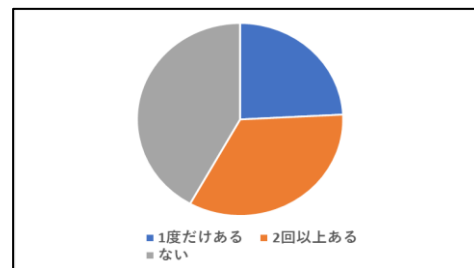


図 9 転職・離職の経験

10. 初職から転職、離職した最も大きな理由は何ですか。該当するものを一つだけ選択してください。

表 10 転職、離職の理由	
選択肢	人数
ステップアップを図るため	5
キャリアを買われたから	1
収入への不満があったから	7
より大学で学んだ専門に近いから	1
労働時間への不満があったから	4
職場の人間関係に不満があったから	3
能力が不足していたから	2
自分の関心に合わなかったから	5
結婚	1
出産・育児のため	1
介護のため	0
有期雇用の契約満了	1
その他	25

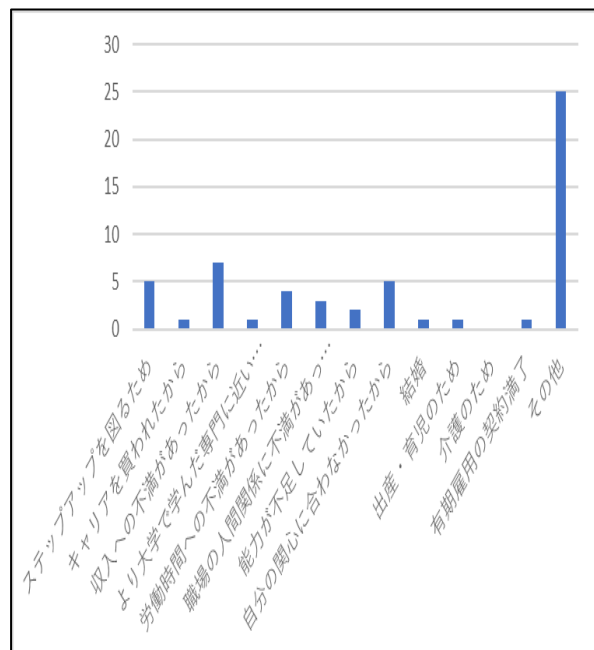


図 10 転職、離職の理由

表 9、図 9 より半数以上の卒業生が転職・離職の経験があり、理由としてキャリアアップやキャリアを買われてではないのが残念である。その他の詳しい理由は不明である。

1 1. 大学卒業後のあなたの社会経験を踏まえて、以下の能力を大学生時代に身につける重要性はどの程度あると考えますか。項目について該当するものを一つだけ選択してください。

表 11 大学生時代に身につけておくべき能力

選択肢	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要ではない	重要ではない
一般的な教養	30	20	8	2	2
分析力や問題解決能力	33	20	7	0	2
専門分野や学科の知識	30	18	9	3	2
批判的に考える能力	21	16	13	8	4
異文化の人々に関する知識	14	18	21	3	6
リーダーシップの能力	25	21	13	2	1
人間関係を構築する能力	46	8	7	1	0
他の人と協力して物事を遂行する能力	41	16	4	0	1
異文化の人々と協力する能力	15	20	16	7	4
地域社会が直面する問題を理解する能力	18	24	15	2	3
国民が直面する問題を理解する能力	18	14	25	3	2
文章表現の能力	33	19	8	1	1
外国語の運用能力	9	17	23	3	9
コミュニケーションの能力	44	13	4	1	0
プレゼンテーションの能力	34	13	10	3	2
数理的な能力	23	19	16	2	2
コンピュータの操作能力	35	19	5	2	1
時間を効果的に利用する能力	39	16	5	2	0
グローバルな問題の理解	12	23	17	7	3

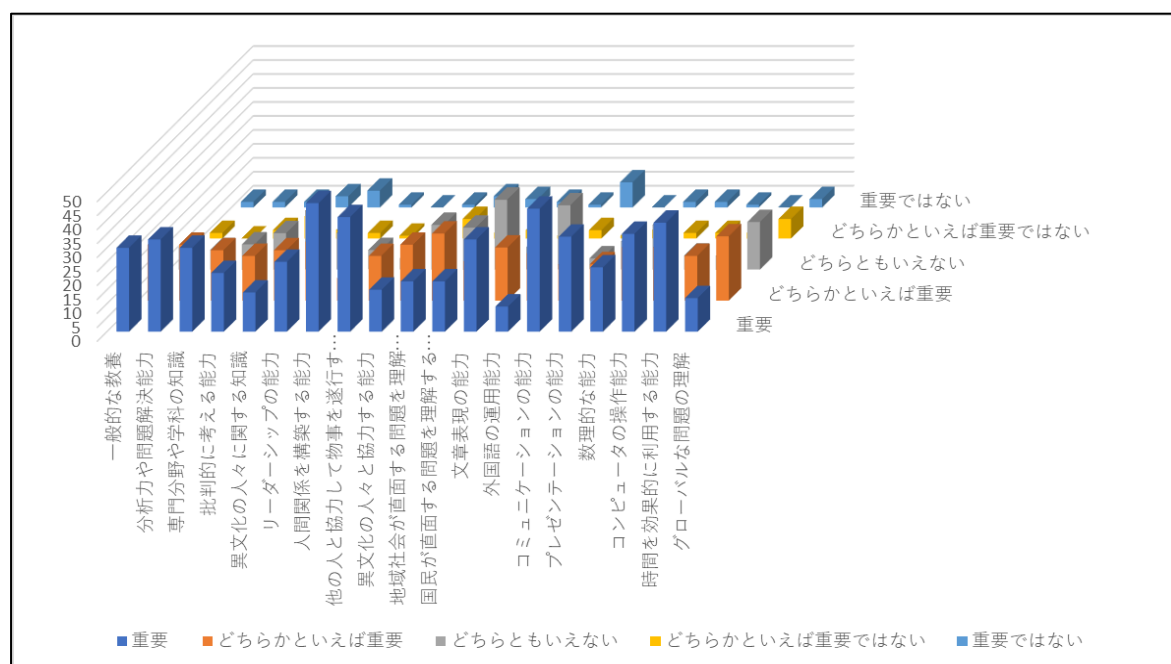


図 11 大学生時代に身につけておくべき能力

在学中に身に付けるべき能力については、以下表 11・図 10 から、大学での専門分野の知識、一般教養と部活、アルバイト等から得られるコンピテンシーが必要と推測される。

1 2. 勤務時間以外で、自らを向上させていくための学習にどれくらいの時間（一週間あたり）を使っていますか。一つだけ選択してください。

表 12 能力向上のための学習時間

選択肢	人数
全然ない	20
1時間未満	12
1～2時間	13
3～5時間	11
6～10時間	4
11～15時間	1
16～20時間	0
21時間以上	1

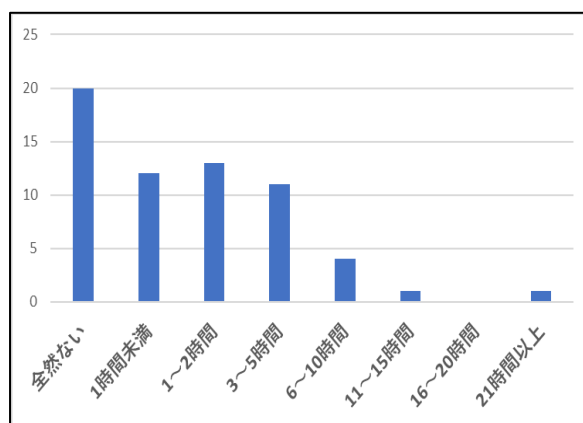


図 12 能力向上のための学習時間

多くの卒業生は社会に出てからも勉強が必要と感じているが、学習する時間が取れない結果となっている。

1 3. 大学時代に受けた教育や、本学に対するご意見・ご感想があればお書きください。



図 13 出現頻度

記入されていた感想

- ・職員はもっと働け
- ・デジタルツールを扱えたのは以後の人生において重要なファクターとなりました。
- ・明確な指導がなく、勉強に苦勞した。
- ・建築意匠学はとても楽しい科目です。今でも学びたいくらいです。
- ・大学ではたくさんの先生方に、近い距離感で指導していただきました。ありがとうございました。
- ・卒業後に他分野の専門学校に通ったが、大学を修了できて本当によかったと思っている。途中で退学してい

なくて本当に良かった。なぜなら、日本の教育システムのなせる功罪かもしれないが、資格を取得したり、研修を受けたりするときに、必ず最終学歴がついて回るから。わがままな自分が4年間を学ぶことができたのは、先生方の面倒見の良さ、包容力のおかげだと感謝している。ありがとうございました。

- ・プレゼンの勉強や経験が今の役に立っている。もっと真面目に真剣にやっておけば良かったと今になって思います
- ・このアンケートについて、私が大学していたのは15年以上前のことで、正確に当時の私が、どんなふう to 考えどういう状況でどういう判断をしたか、思い出すことがなかなか難しいです。僕よりももう少し若い世代の方々が、より正確にこのアンケートに答えることができるのではないかと思います。また、質問の中には自分の経験を踏まえての設問が多く、私は大学で学んだこととは別の業種に就いている期間が大部分を占めるので、参考にできるところがかなり限られるのではないかと感じました。さらに、もし学生に対して何か活用するのであれば、まだ社会に出てない学生にはどこまで有用か分かりません。このアンケートが何か有効活用されることを願っています。
- ・ゼミの恩師は他界されましたが、お元気な頃は、卒業後も、お手紙のやり取りはさせて頂いていました。学びの場を提供頂いた事は、勿論の事、素晴らしい恩師に巡り会えた場を提供して頂きありがとうございました。
- ・本学で学んだことを重視しながら過ごしています。
- ・勉強・スポーツにしろ全てにおいて中途半端ですね。何を芯にしてアピールをしているかが分からない。狭い世界だけで自己満足しているように見える。普通に働いていて愛産大の情報は何も得られてない。全て解体をしてこれからの大学のポジションを考えた方が良くないではないか。
- ・愛産大愛してる！
- ・在学中に某教授から受けたパワハラへの恨みは未だ消えておりませんが、ゼミでご師事いただいた佐藤延男教授のお陰で充実した大学生活を送ることができました。母校が良い人材育成の場となっていると大変嬉しく思います。
- ・卒業設計や卒業論文(発表)など研究室にこもりやった経験が、社会にでて凄く役立った。今では働き過ぎとかの問題にはなるが、仕事は個人の自由で、自分は楽しめている。
- ・専門スキルだけでなく、ビジネススキル(ロジカルシンキングやプレゼン資料の作り方など)、独立に必要な経営に関する講義もあればよかったと思う。
- ・大学生活は良い思い出になりました。ありがとうございます。
- ・今パッと思い出すのは、色を使った平面構成、顔の石膏像製作、設計課題、構造模型、卒業論文、卒業設計。ずっと頭の隅にあって考え方や仕事に影響を与えているのはゼミでの研究や先生友人とのやりとり。自分のベンチマークは常に大学時代の自分だと思ってしまう。
- ・デザイン学科からデッサンの授業が無くなったと聞き残念です。デッサンは物を描く能力ではなく見る能力を伸ばす物です。先生からの批評も社会にできれば可愛い物だと思います。是非また復活させてください

昨年のアンケート結果同様カリキュラムに対する不満はない。学習面だけでなく学生のコンピテンシーを重視する環境づくりが必要と思われる。学生と真摯に向き合い指導していくとともに、10年後、20年後でも社会で通用するカリキュラムでの教育を心掛けたい。

以 上